

2017年度公益社団法人日本臨床細胞学会事業報告

1. 臨床細胞学に関する学術研究の推進並びに学術集会の開催

① 学術集会等を通じた研究・教育の普及および広報

1) 第58回(2017年)春期大会 植田政嗣大会長

会期：2017年5月26日(金)～28日(日)

会場：大阪国際会議場

2) 第56回(2017年)秋期大会 加来恒壽大会長

会期：2017年11月18日(土)～19日(日)

会場：福岡国際会議場・福岡サンパレス

② 班研究活動への助成による学術研究

2017年度の班研究課題を公募し、2題の応募があったが、学術委員会選考会にて審議したが、該当がなかった。

③ 学会研究活動

「一般住民を対象とした子宮頸がん検診における液状化検体細胞診とHPV DNA検査との併用法の有用性を評価する前向き無作為化比較研究」、「子宮頸癌疑い患者及び検診受診者を対象としたLC-1000の有用性に関する臨床試験」を行った。

④ 学会賞・技師賞・最優秀論文賞の授与およびその論文発表

学会賞(応募者3名)：加来 恒壽、金城 満

技師賞・学術部門(応募者4名)：池田 聡

技師賞・功労部門(応募者2名)：及川 洋恵

最優秀論文賞：和文(応募者1名)：該当者なし

英文(応募者4名)：大橋 隆治

2. 臨床細胞学に関する教育普及事業

① 講習会およびセミナーの開催

講習会	開催日	開催地・実施委員長
第126回細胞検査士養成講習会	2017年7月3日(月)～15日(土)	東京医学技術専門学校:東海大学医学部・伊藤 仁
第42回細胞診断学セミナー	2017年8月3日(木)～6日(日)	東京医学技術専門学校:教育委員長
第73回細胞検査士教育セミナー	2017年8月19日(土)～20日(日)	パシフィコ横浜メインホール:大塚 重則
第74回細胞検査士教育セミナー	2017年9月9日(土)～10日(日)	学校法人加計学園倉敷芸術科学大学:三宅 康之

第 74 回細胞検査士ワークショップ	2017 年 7 月 22 日（土） ～23 日（日）	コラッセふくしま：原田 仁稔
第 75 回細胞検査士ワークショップ	2018 年 2 月 10 日（土） ～11 日（日）	京都大学：白波瀬 浩幸

3. 臨床細胞学に関する渉外・広報事業

- ① 診療報酬改定に係る活動を行った。
- ② 子宮の日：都道府県にて子宮頸がん検診推進活動を行った。
- ③ ホームページやメールを通じての広報活動を行った。
- ④ 関連他団体との連携を行った。

4. 臨床細胞学に関する細胞診専門医並びに細胞検査士の資格認定、更新に関する事業

① 細胞診専門医、細胞検査士の資格認定者数、資格更新者数

- 1) 2017 年度細胞診専門医
 - ・ 資格認定者数 101 名
 - ・ 資格更新者数 853 名
- 2) 2017 年度細胞検査士
 - ・ 資格認定者数 323 名（内学生受験合格者 56 名）
 - ・ 資格更新者数 1,781 名

② 教育研修指導医の資格認定

- 1) 2017 年度教育研修指導医の認定者数 96 名

5. 細胞診断の質を維持、向上させるための施設認定、研修に関する事業

① 細胞診を用いた検診等を実施する団体等への施設認定、細胞診専門医を育成するための教育研修施設認定

- 1) 2017 年度施設認定
 - ・ 新規施設認定 7 施設
 - ・ 総認定施設数 852 施設
 - ・ 認定資格更新 69 施設
- 2) 2017 年度教育研修施設認定
 - ・ 新規施設認定 1 施設
 - ・ 総認定施設数 327 施設
 - ・ 認定資格更新 55 施設

6. その他前条の目的を達成するために必要な事業

- ① 国際細胞学会（IAC）の資格認定や連携（合同シンポジウムの開催など）

- 1) サイトパソロジスト試験合格者 2 名
 - 2) サイトテクノロジスト試験合格者 127 名
- ② 肺がん学会とのワーキンググループ
- 1) 日本肺癌学会・日本臨床細胞学会による 2 学会合同委員会を行った。
- ③ ゲノム診療時代における細胞診のあり方検討ワーキンググループを作った。
- ④ 地域連携の活動を行った
- ⑤ 国際交流事業（日韓、日中、日-タイとの共催事業、豪州との人事交流、カンボジアへの支援を実施）を行った。